

**防災特集**

# 日頃の備えをともに



6月2日 山田区

私たちが住む日本は、毎年災害が発生しており、年々激さを増しています。また日本は、災害の多さから災害大国とも呼ばれています。

6月2日、台風により刺激された梅雨前線がもたらした大雨は、全国各地に被害の爪痕を残しました。湯浅町でも床上・床下浸水（計121件）や農地災害、

道路冠水による通行止めが各所で発生しました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。テレビや新聞で見ていた大雨による災害はもはや他人事ではなく、いつ再び湯浅町で発生するかわかりません。今回の特集では、皆さんとともに、正しい避難に必要な知識や対策について考えていきます。



▲6月2日 吉川区

## 知ることから始める

「災害に備えるって、何からすれば良いの？」  
これは、よく住民の方から質問される内容です。正しい避難のために知ってもらいたいことや考えて欲しいことを説明します。

### どうやって知る？

まず、湯浅町のどこでどのような災害が起こる可能性があるのかを知らなければ安全に避難することはできません。

地図で、どこに避難すれば良いのかを知ることができ  
ます。家族や友人・知人と話し合い、災害の起こった時に避難する場所を決めておきましょう。



①洪水・土砂災害ハザードマップ  
②1000年に一度の大雨を想定したもものとなっている

洪水・土砂災害ハザードマップは、令和3年5月に区長を通じて皆さんのお宅にお配りしています。役場や湯浅えき蔵、総合センターでお配りしていますので、お持ちでない方は、窓口までお越しください。

### いつ避難する？

次に重要になるのは、いつ避難するのかです。災害が発生している最中に避難しても、身に危険が及ぶ可能性があります。皆さんが避難する上で参考にしてもらいたいのが、気象庁や市町村が発令する**警戒レベル**です。災害発生時の危険度や住民が取るべき行動を示しており、警戒レベル4「避難指示」までに必ず避難することとされています。警戒レベル5「緊急安全確保」になると災害が発生している、

### 避難が遅れてしまったら・・・？

またはいつ発生してもおかしくない状況が予想され避難が困難となるためです。

避難する上で忘れてはいけないことは、少しでも危険と感じれば警戒レベルの発令を待たずに避難することです。避難すること自体が危ないと感じたら、無理に避難せず、家の2階へ避難する等、その場で命を守る**最善の行動**をとってください。

避難情報等 (警戒レベル)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	気象状況悪化の予兆	災害への心構えを高める	早期注意情報

▲警戒レベル

CONTENTS

- P 2 ……防災特集 日頃の備えをともに
- P 6 ……山田小学校運動会・湯浅中学校体育祭フォトレポート
- P 8 ……町の話題
- P10 ……集団健診のご案内／マイナポイント申込み端末を設置しています
- P14 ……地籍が進めるまちづくり
- P17 ……高齢者公衆入浴補助のお知らせ／介護保険負担限度額認定のご案内
- P18 ……地域包括支援センターだより
- P24 ……町長メッセージ／湯浅えき蔵図書館きてみて！
- P21 ……7月カレンダー／町営プールを開放します



7 月号  
VOL.584

# 災害に備え過ぎはない

どんなに備えても被災してから、初めてわかることもあります。災害が発生した後に必要な備えや対策とは何か考えてみましょう。



## 備蓄品



▲6月2日 別所区  
▲6月2日 大宮通3区

大規模な災害が発生した場合、電気・水道・交通等のライフラインが使えなくなり、生活必需品が手元へ届かなくなることが考えられます。

役場や避難所でも食料や飲料水等を備蓄していますが、大きな災害では支援を必要とする方も多くなるため、全員の手元に行き届くまでに時間がかかります。そのため、災害後の生活で重要となってくるのは皆さんが自分で用意する**備蓄品**です。

## 自分で備える

備蓄品を備えようとする時、まずアルファ米や飲料水等の非常食が思い浮かびますが、食料品だけでなく災害後の数週間、数か月の生活を考えた備蓄品も必要です。また、浸水の恐れのある家庭では、普段から土のうを備えましょう。

台風や地震が発生した場合、停電や断水が発生することも考えられます。**何が起きるのか**ということを想像しておけば、自分に必要なものを備蓄することができます。

## 地域で備える

停電や断水が発生した場合、蓄電池や非常用トイレが必要となってきますが、すべての家庭で備蓄するというのは難しいと考えるため、**地域で備える**ことができれば安心につながります。地域によっては、共用の備蓄品として蓄電池や食料品等を備えています。個人で備えて、地域で備える、災害に対し備え過ぎはありません。ご家庭や地域で、今からできる備えについて話し合ってみましょう。

# 安心への第一歩

災害について考えることも防災につながります。避難所やその他の備えについて考えてみましょう。

## 大型の避難所の紹介

湯浅町では大雨等の風水害の発生が予想される場合『湯浅えき蔵』『地域福祉センター』『総合センター』の3か所を避難所として開設します。(状況に応じて追加で避難所を開設します。)

なお、自ら避難することが基本ですが、自力で避難



①湯浅えき蔵 ②地域福祉センター ③総合センター

することができない方は、役場へ連絡してもらえば避難所への送迎をします。

## その他の備え

風水害以外にも、湯浅町は南海トラフ地震のリスクもあり、地震の揺れに対する備えも大切です。

湯浅町では65歳以上の高齢者や障がいのある方がいる世帯を対象に無料で3か所、家具を固定する事業を行っています。また、危険なブロック塀の撤去や耐震化、住宅の耐震診断や耐震改修についても補助をする事業があります。希望される方はご相談ください。

## 備えあれば 憂いなし！

大雨、洪水、さらには地震や津波等の災害はいつ発生してもおかしくありません。私たちが自分の身を守るために必要なことは、いつ災害が発生しても対応できるように日頃から備え、万が一発生した際にも、正しく対応できる知識を持つことです。

どんな小さな行動でもまず防災について一歩を踏み出すことが大切です。日頃から防災に対する意識を持ち、災害に備えましょう。

### 住宅の耐震診断・改修

産業建設課  
TEL 64-1124

### 家具固定・ブロック塀の撤去・改修

総務課  
TEL 64-1108

食糧、生活用品、衛生用品の品目や数量の目安が表示されます。

①人数を入力  
②日数を入力  
③「備蓄量を調べる」を選択

防災備蓄計画

必要な備蓄品リスト

## INFORMATION

### 備蓄品はどのくらい必要か？

和歌山県が配信している『和歌山県防災ナビ』では災害時に必要な備蓄品や数量を簡単に計算できる機能が追加されています。ぜひご活用ください。



無料でご利用いただけます。  
(ダウンロード・利用に係る通信料は利用者の負担となります。)